

令和6年 6 月 27 日

瑞穂市議会

議長 庄田 昭人 様

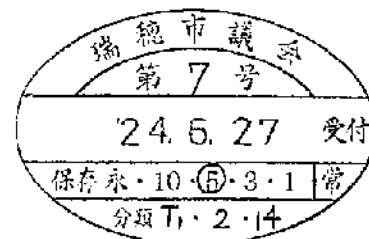
発議者 瑞穂市議会議員

北村 彰敏

賛成者 瑞穂市議会議員

関谷 英樹

賛成者 瑞穂市議会議員



学校給食費の更なる軽減措置を求める決議

次の理由により、上記決議案を別紙の通り、瑞穂市議会会議規則第13条第1項の規定に基づき提出します。

記

提案理由 物価高騰による学校給食費の値上げは、物価高騰を上回る賃金上昇が実現していない現状において、子育て世帯、特に多子世帯の家計負担が重くなる。少子化問題に率先して取り組む「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしている瑞穂市として、特段の配慮をする必要があるため

以上

学校給食費の更なる軽減措置を求める決議

瑞穂市は、令和5年11月15日以降、「給食運営委員会」「校長会」「保育所長会」「文教厚生委員会協議会」「給食センター運営委員会」などにおいて、給食費値上げの説明を行い意見聴取した後、令和6年第3回教育委員会定例会において、給食賄材料費が約10%値上がりしているため、令和6年4月1日から教職員負担分を、令和6年10月1日から児童生徒負担分の学校給食費を10%引き上げる「瑞穂市給食センター運営規則の一部を改正する規則」を決定した。

その一方、瑞穂市議会令和5年第2回定例会では、市の負担で「学校給食費の無償化を求める請願」が5913名の署名とともに提出されるとともに、「国の負担で学校給食費の無償化を求める意見書」が全会一致で可決された。さらに、他市町に先駆けて、令和6年1月4日、瑞穂市は、こどものために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現する、という「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」として活動することを宣言した。

以上のことから、学校給食費の値上げは、物価高騰を上回る賃金上昇が実現していない今、子育て世帯の家計を圧迫するもので、特に多子世帯に負担が重い。本議会において、補正予算措置で値上げ分の5%を市で負担したことは一定の評価をするが、さらなる軽減措置が必要である。そして、「こどもまんなか応援サポーター宣言」通り、少子化対策に取り組む瑞穂市では、こどものために何がもっともよいことを考え、こどもを応援する姿勢を示すことが必要である。

よって瑞穂市議会は、学校給食費の値上がり分を一般会計等で財源を確保し、子育て世帯に対して、物価高騰を上回る賃金を実現するまで学校給食費を含む子育て世帯の負担軽減措置を講じることや、多子世帯に対する負担軽減措置を給食費の値上げが実施される際に講じようとすることを求める。

以上、決議する。

令和6年6月 日

瑞穂市議会